

広島市で行っているHACCPへの取り組み

広島市保健所では、広島市内の飲食店や食品製造施設への監視・指導等を行うことで、食品の安全性を確保するための取り組みを行っています。

その中で、HACCPへの取り組みとして、「HACCP手法を取り入れた自主衛生管理の促進」を実施しています。



「HACCP手法を取り入れた自主衛生管理の促進」とは、実際にはどのようなことを行っているのですか？

保健所内にHACCPプロジェクトチームを立ち上げ、監視員の資質向上のための研修会の実施やHACCP手法を取り入れた施設を増やせるように食品事業者に働きかけています。

働きかけ内容

◆HACCP導入型基準の周知

平成26年12月に広島市の条例を改正し、食品等を取り扱う事業者の衛生管理方法について、食品の取り扱い方法を定めていた従来型の基準とは別に、危害の発生について各工程毎に防止する事項を定めた「HACCP導入型基準」を新たに追加して、その基準や制度の内容について事業者等へのメールマガジンやホームページで周知

◆HACCP手法導入に向けたサポート体制の整備

- 1 保健所職員による施設担当者向けの講習会実施
- 2 導入を検討している食品事業者には、検討段階に応じた指導・助言
- 3 市内の食品事業者と協力し、国が実施する地域連携HACCP導入実証事業[※]への参加

HACCPとは
.....



※地域連携HACCP導入実証事業とは？

国が実施をしている事業で、地域と連携してHACCPを導入しようとする食品等事業者を支援するものです。

具体的には、HACCP導入を希望する食品事業者に対して、地方自治体（地域の保健所）が導入過程を支援することで施設のHACCP導入を目指します。また、その報告書をまとめることで、今後、導入を検討する事業者への普及促進に役立てます。

広島市では、食品衛生の専門家（コンサルタント）と連携し、市内の食品製造施設と協力してこの事業を実施することで、HACCPを用いて衛生管理を行う場合の基準（HACCP導入型基準）を満たすように支援し、輸出を視野に入れた体制の整備を行います。
その過程で、次のようなことを実施予定です。

- ◆協議会の開催
…保健所職員、コンサルタント及び事業者で導入にあたっての課題や対応策を検討します。
- ◆現場確認及び検査
…保健所職員及びコンサルタントが製造施設へ立入り、現場の問題点の改善指導を行います。
また、製品検査や施設設備の拭き取り検査を実施します。
- ◆指導の記録
…指導結果を記録することで、導入過程の課題を抽出し、対応策を検討します。
- ◆導入効果調査
…導入前・導入中・導入後の変化（従事者の意識や生産ロス等）をアンケート等により調査します。